

札幌市職員研修指導業務企画競争【区分A・C】

評価項目・評価基準

評価項目		評価視点	配点
企画 (45点)	(1) 研修の目的・ねらいを正しく理解し、意識したカリキュラム構成となっているか	・ 業務説明書に示す研修の目的・ねらいの充足度 ・ 自治体の業務への理解度 ・ 研修内容に応じた適切な時間配分	25点
	(2) 受講者の理解度を高める工夫はあるか	・ 研修の内容に応じた効果的な手法の有無（講義、個人演習、実演など） ・ 「気づき」を促す工夫の有無 ・ 受講後の活用を促す工夫の有無	10点
	(3) 研修資料は十分かつ効果的か	・ 構成の見やすさ、使いやすさ ・ 後日活用（復習、応用）のしやすさ	10点
内容 (45点)	(1) 講師の技量は適格か	・ 立ち居振る舞い（姿勢・身だしなみ・身振り手振りなど） ・ 声量・滑舌 ・ 説明の分かりやすさ・進行技術 ・ 受講者に語りかけるような話し方 ・ 積極性・意欲 ・ 受講者を惹きつける力	30点
	(2) 本市が求める内容・レベルの講義を期待できるか	・ 受講者層を意識した講師選定 ・ 説得力のある講義への期待度 ・ 受講対象者の年齢や職位に見合った講義への期待度 ・ その他特に期待できる点の有無（前職を含めた講師の経歴、類似研修の指導実績、著書、特別な資格など）	15点
実施体制 (10点)	研修実施に当たっての体制は整っているか	・ 適切な業務体制及び人員配置 ・ 本市との連絡体制の明確さ（円滑な打合せ等が可能か） ・ 本市の要望（テキストや事例の修正等）に的確に対応できる体制の有無 ・ 予定していた講師が感染症に罹患する等、急速登壇できなくなった場合でも、滞りなく研修を実施するための対応策	10点
			100点

※ 内容について

予定講師が複数いる場合は、全員についての評価を担当時間により按分し、提案者としての評価とする。